

## 路面下空洞調査の実施状況について

### 1 目的

道路陥没は、道路への損傷による交通機能の麻痺や人的被害を発生させる可能性がある。このような道路陥没による事故を未然に防止するため、道路陥没を引き起こす原因の一つである路面の下に発生する空洞について、空洞探査車両等を用いた調査により把握し、補修等の措置を講じる。

### 2 概要

#### (1) 延長・頻度

主要な区道、約48.8キロメートルについて、5年に1回の頻度で路面下空洞調査を委託により実施している。なお、すべての区道約228キロメートルについても、年2回の頻度で職員により舗装面の目視点検を実施している。

#### (2) 対象

主に幅員11メートル以上の車道部

### 3 令和7年度の実績

道路延長 約9.1キロメートル

調査結果 異常あり・・・22箇所

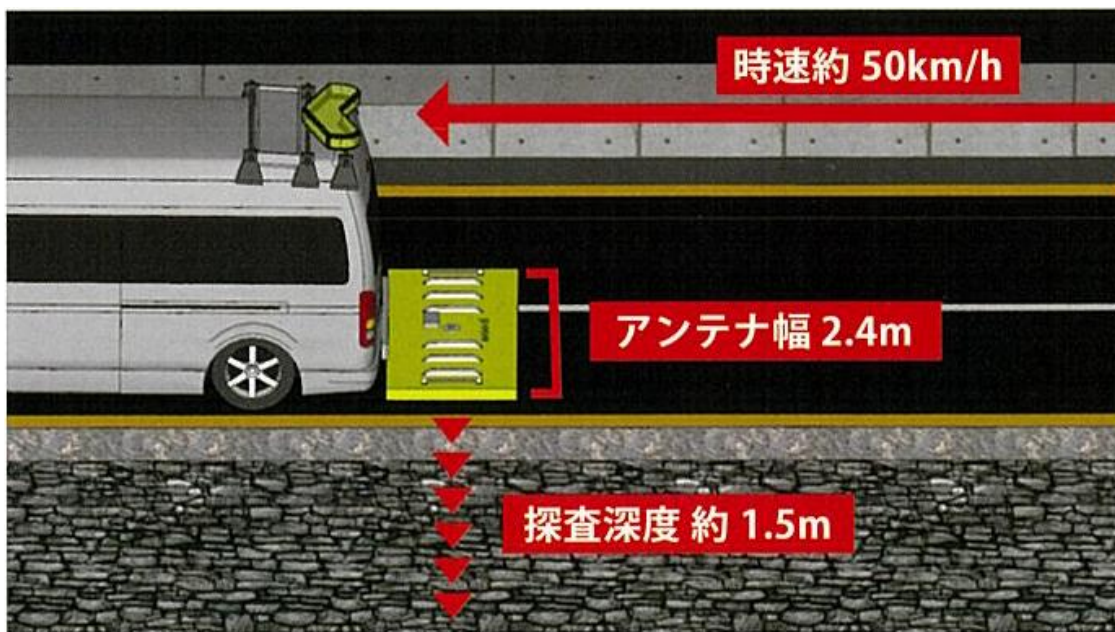
- ・下水道管の破損・・・3箇所
- ・不明構造物・・・3箇所
- ・経年沈下等・・・16箇所

※上記異常箇所については、令和7年度内に補修等対応済み

### 4 今年度の取組

道路延長 約10.1キロメートル

【参考】



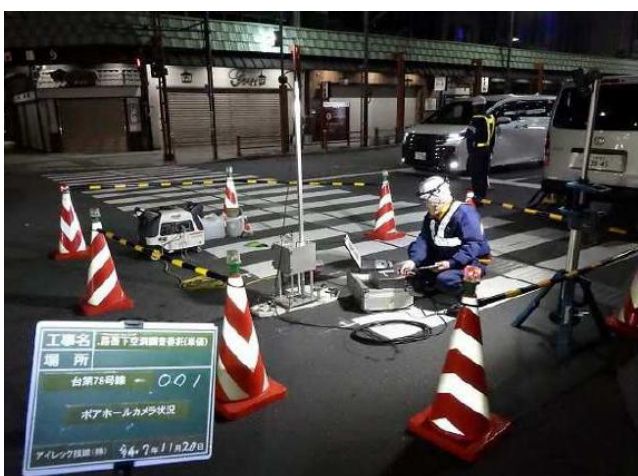
出典：アイレック技研株式会社資料



写真：探査車計測状況



写真：ハンディ型レーダー探査状況



写真：パイプカメラ調査状況



写真：探針状況